

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和5年第31週(7/31~8/6)【COVID-19情報】

令和5(2023)年8月10日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点当たりの報告数は、横ばいで推移しています。年齢別では10歳未満および70歳以上で増加傾向が見られます。
- ・咳などの風邪症状がある場合はマスクを着用する(咳エチケット)、手洗いをする、換気をするなど基本的な感染対策をお願いします。夏休みやお盆の帰省等で、重症化リスクが高い方(高齢者、基礎疾患がある方等)と会う場合は、特に感染対策をお願いします。

2. COVID-19の定点当たり報告数(全国は前週)の値

定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数(COVID-19は60)で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。(例:1週間の報告数200 ÷ 60 ≒ 3.33)

疾病名	滋賀県			保健所別							全国(前週)
	2週前	1週前	今週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
新型コロナウイルス感染症	15.28	14.90	15.23	25.46	12.46	11.86	15.20	10.43	9.57	15.33	15.91

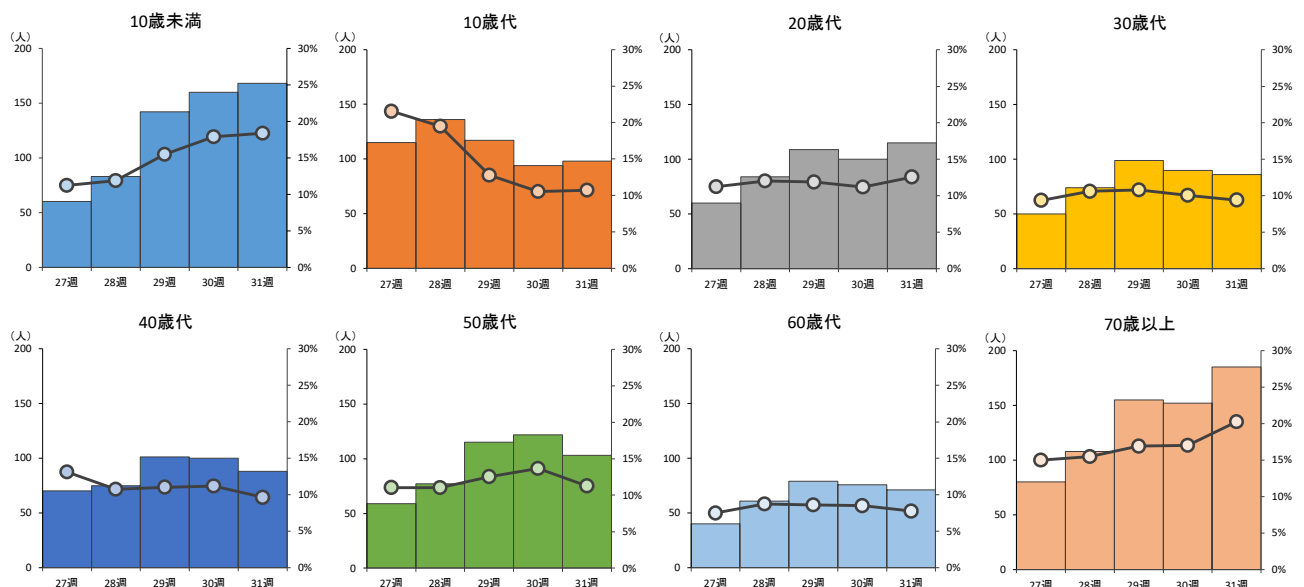
3. COVID-19の年齢階級別報告数(滋賀県、今週)

[-]:報告なし

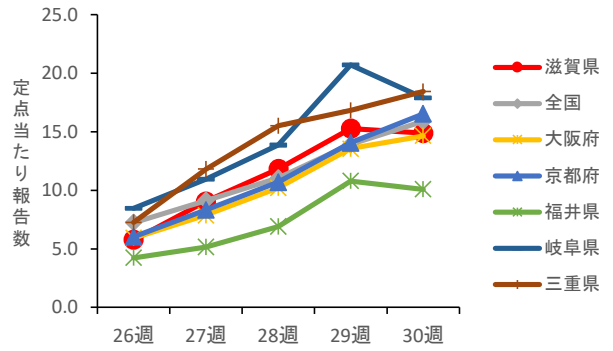
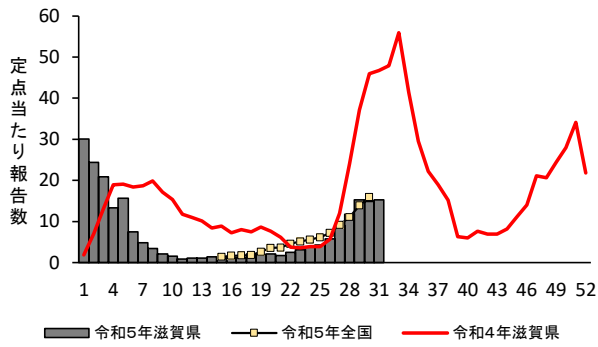
COVID-19定点	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
滋賀県(60医療機関)	914	5	14	22	12	13	15	20	13	19	16	19	61	37	115	86	88	103	71	77	108
大津市保健所(13医療機関)	331	2	2	6	3	6	10	3	3	4	2	6	13	10	47	32	37	41	28	35	41
草津保健所(13医療機関)	162	-	1	2	2	-	1	2	6	2	2	5	14	10	26	22	17	21	14	8	7
甲賀保健所(7医療機関)	83	-	3	-	1	2	-	1	-	1	1	1	1	2	5	11	10	8	12	6	18
東近江保健所(10医療機関)	152	2	5	9	1	3	2	6	3	4	2	3	15	7	15	5	11	18	7	12	22
彦根保健所(7医療機関)	73	1	-	-	3	-	-	1	-	4	2	1	5	4	9	8	4	7	5	12	7
長浜保健所(7医療機関)	67	-	1	4	1	1	2	5	1	2	4	3	6	2	10	4	1	7	1	4	8
高島保健所(3医療機関)	46	-	2	1	1	1	-	2	-	2	3	-	7	2	3	4	8	1	4	-	5

4. COVID-19の年齢階級別推移(滋賀県)

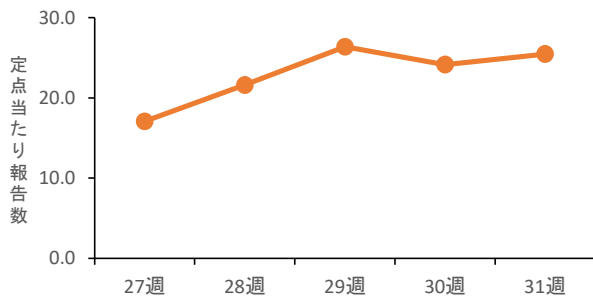
棒グラフ(左軸):報告数(人) 折れ線グラフ(右軸):全年齢に占める割合(%)



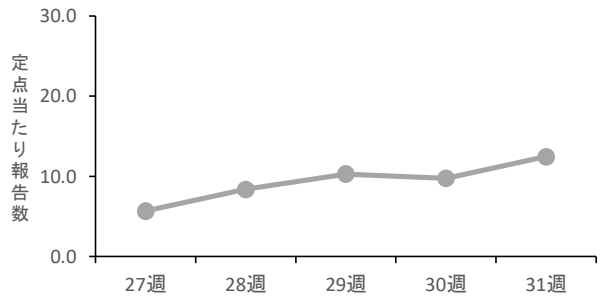
5. COVID-19の発生動向・保健所別推移等 (全国・他府県は前週まで掲載)



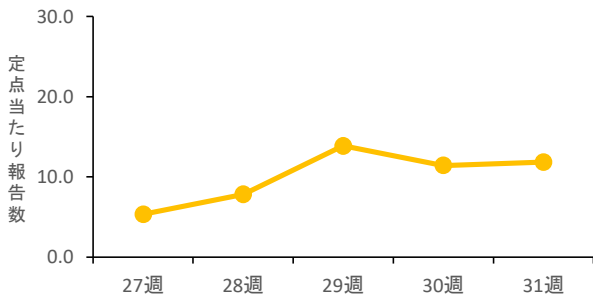
大津市



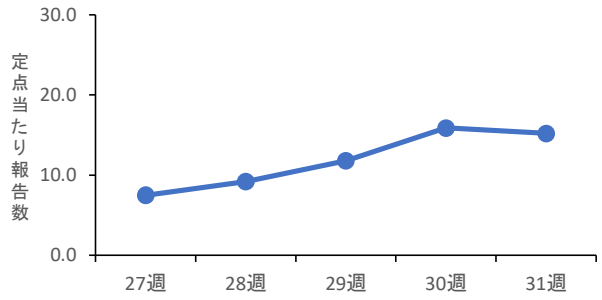
草津



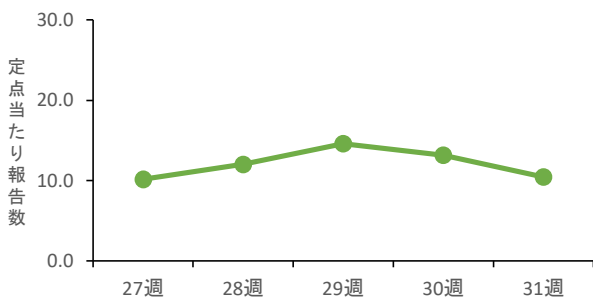
甲賀



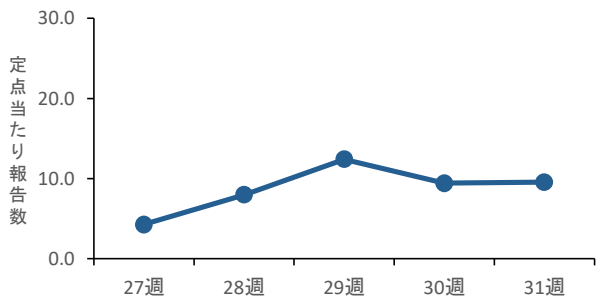
東近江



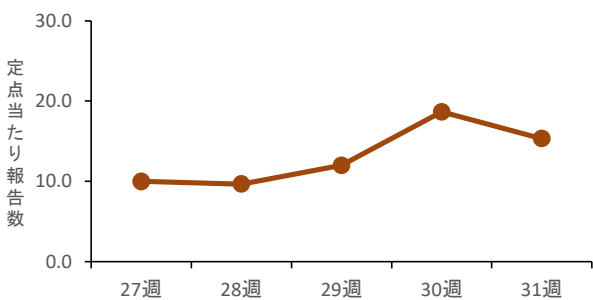
彦根



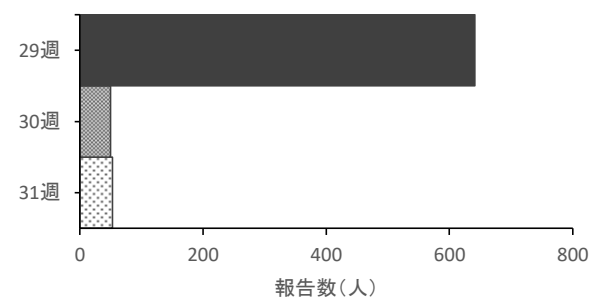
長浜



高島



学校欠席者情報収集システム(滋賀県)



変異株にかかるゲノム解析状況について

健康危機管理課作成
8月6日時点

- 世界的には、XBB.1.9.2系統(EG.5系統含む)が18.9%、XBB.1.16系統が18.4%、XBB.1.5系統が11.6%、XBB.1.9.1系統が9.7%を占めている。(WHO COVID-19 Weekly Epidemiological Update Edition 154 published 3 August 2023)
- 全国的にはXBB.1.16系統およびXBB.2.3系統が増加傾向にあり、滋賀県でも令和5年5月にXBB.1.16系統、令和5年6月にXBB.2.3系統が検出された。
- 滋賀県では、令和5年7月時点ではXBB系統が全体の89.5%(うちXBB.1.16系統は42.1%、XBB.1.9.2系統(EG.5系統含む)は18.4%、XBB.1.9.1系統は15.8%、その他XBB系統は13.2%)を占めており、感染の主流系統となっている。
- WHOは、令和5年8月9日にXBB.1.9.2系統の一種であるEG.5系統を注目すべき変異株として指定したが、入院患者数や死亡者数が増加しているとの情報はない。今後の発生動向を注視する必要がある。(WHO adds Omicron EG.5 to variant monitoring as global COVID markers decline further Lisa Schnirring, July 21, 2023)

ゲノム解析結果(検体採取日別 月報)

